

市報 やまぐち

CONTENTS 主な内容

コミュニティスポーツクラブ
突発する傷病から生命を守る

2001 9/1 NO.1299

SEPTEMBER
Communication Paper Yamaguchi



第11回 大市民 学講座



各界で活躍する講師の方々です。あなたも生涯学習のきっかけづくりはどうですか。

里中 満智子 (漫画家)

さとなか まちこ



「夢を実現する力」
10月18日(木)

立松 和平 (作家)

たてまつ わへい



「自然とともに生きる」
10月12日(金)

桂 文珍 (落語家)

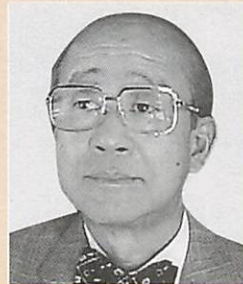
かつら ぶんちん



「落語的学問のすすめ」
11月20日(火)

コーネリアス 飯田 (外交問題評論家)

コーネリアス いいだ



「ホワイトハウスの窓辺での回想」
11月5日(月)

「第11回市民大学講座」を4回にわたって開催します。お楽しみに!

★当口券 800円

◇場所 市民会館大ホール
◇時間 午後6時30分～8時(午後5時50分開場)

★通し券 2000円

①往復はがきに必要事項(下図参照)を記入のうえ、9月17日(月・必着)までにお申し込みください。(1枚のはがきで、2枚まで申込み可能)

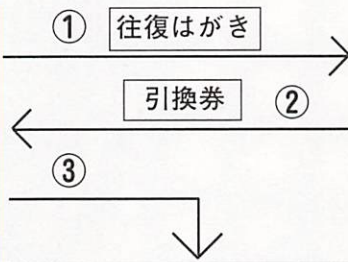
②引換券を送付します。(応募者多数の場合抽選)

③引換券と代金を持参し、販売場所(左図参照)で購入してください。引換期間は9月25日(火)から10月5日(金)です。引換期間中に購入されない場合、予約無効となります。期間終了後、引き換えられなかった聴講券は、市生涯学習課(市役所3階)で販売する予定です。

市生涯学習課

販売場所：各公民館・市民会館・市生涯学習課(市役所3階)

聴講希望者



(往信宛名)

(返信本文)

753-8650
山口市亀山町2-1
山口市生涯学習課
市民大学講座宛

(何も記入しないでください)

(返信宛名)

(往信本文)

郵便番号
あなたのご住所
お名前

市民大学講座希望
ご住所
お名前
希望枚数
(2枚まで)
希望販売場所

予約ができるのは通し券のみです

◇問い合わせ 市生涯学習課(☎934-2865) 当日の午後以降は(☎090-4575-1088)へ

いつでも、どこでも、だれでも、気軽に

コミュニティスポーツクラブ

みんなでスポーツを純粋に楽しみたい、または、健康づくりのために体を動かしたいと思っている人は多いのではないだろうか。しかし、いざスポーツをしようと思っても、「仲間が集まらない」、「クラブに入りたけれど入会の仕方がわからない」などの理由で、スポーツを日常的に気軽に楽しむとまではいきません。

現在、鑄銭司地区と佐山地区で「いつでも、どこでも、だれでも、気軽にスポーツが楽しめる」ことを目的に、コミュニティスポーツクラブが活動を行っています。このクラブは、地域住民のボランティアによって運営され、子どもからお年寄りまで幅広い年齢層がいろいろなスポーツを楽しんだり、健康づくりを行うことができます。また、コミュニティスポーツクラブは、ただスポーツを行うだけでなく、希薄になつたといわれる人と人とのつながりを深めるといった大きな役割をもっています。



少年・高齢化、景気低迷、余暇時間の増大などスポーツを取り巻く環境の変化

日本のスポーツは、これまで学校体育（学校で行うスポーツや部活動など）や企業スポーツにより支えられてきましたが、少年・高齢化、成熟社会、景気低迷、余暇時間の増大など社会経済情勢の変化に伴い、いくつかの問題点を抱えるようになりました。

身近なところでは、「少子化が進みチーム編成ができなくなる」、「学校を卒業するとスポーツから遠

ざかってしまう」、「メンバーが固定化するため、新しい人が入りにくい」、「クラブに入りたいがどこに問い合わせたらいいのかわからない」、「1種目しか行うことができず、定期的で義務づけられた参加になる」などの問題があります。

こうした中、地域が、学校体育や企業スポーツと連携してスポーツを支えていこうという活動や総合型地域スポーツクラブが注目さ



れるようになりました。

山口大学教育学部の三好教授にお話をうかがいました。

「日本では、これまで、学校体育と地域で行うスポーツ活動（社会体育）が分けられ別々に発展してきました。

これまで地域で行われてきた活動は、行事中心型で、継続的に市民がスポーツを楽しむというところまではいっていませんでした。日本では、地域で、いつでも、どこでも、だれでもスポーツができる受け皿をつくる取り組みが不十

分でした。しかも、数少ない地域のスポーツクラブは、大会志向型で限られた年齢集団による勝利や記録達成を目指した単一種目のスポーツクラブになっていました。

しかし、最近では、運動会などの学校行事の簡略化、必須クラブの廃止、部活動の休・廃部など学校でのスポーツ活動が小さくなっています。また、指導者不足が指摘されたり、スポーツをする子どもとしない子どもの格差が広がるなど、学校体育も地域スポーツとの連携が必要になってきています。職場でのスポーツ活動について

鑄銭司地区と佐山地区で始まっているコミュニティスポーツクラブの活動

●コミュニティスポーツクラブ ブ（コムスポ）の特徴

コミュニティスポーツクラブは、日常生活の中で無理なく拠点施設に通える小学校区程度の範囲で、地域住民のボランティアにより運営されているスポーツクラブです。これまで地区内ではばらばらに行われてきた活動をまとめた総合的なクラブです。

誰でも会員になることができ、会員の会費を主な収入源として活

も、企業の華々しい競技スポーツへの支援は見るスポーツを普及させましたが、地域に開かれた職場スポーツにはほど遠いのが現状です。近年の不況により、休・廃部の連携を必要としています。

心の豊かさの追求や週休2日制、学校週5日制などが進む中で、家庭や地域の役割が大きくなっていきます。地域スポーツは、地域の人々の、楽しみとスポーツ活動を保障するものにならないといけない。

学校や職場中心のスポーツから

動しています。複数の種目があり、会員であればどの種目にも参加できます。公共体育施設や小中学校区の学校体育施設が拠点であり、事務局（クラブハウス）が設置してあります。

コミュニティスポーツクラブは、単にスポーツを楽しむだけでなく、地域教育力の再生、多世代交流、青少年の健全育成、高齢者の生きがいづくりなどのメリットがあります。

地域スポーツへ、『みる』だけのスポーツから地域で『みる』『する』『支える』スポーツへ、男女、多世代がともに楽しめるスポーツが求められてきます」と三好教授は地域スポーツに期待を寄せています。



山口大学教育学部
三好洋二教授

市では、平成11年度に佐山地区と鑄銭司地区の2地区をモデル地区に指定し、クラブ育成に向けた活動を行ってきました。

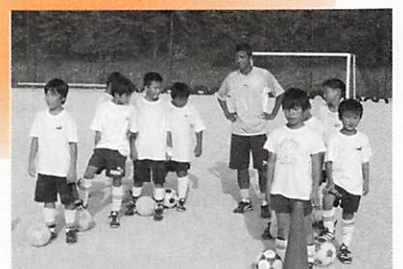
●鑄銭司蔵六コミュニティ スポーツクラブ

一昨年の7月にスタートし、現在の会員は、276名。16種目のスポーツ教室やサークルなどを開いており、土日だけでなく平日も教室を開催しています。会員は、種目、教室、サークルでも参加できます。（平成13年度の個人会費は年間1000円と別に保険料）ま

◀ 鑄銭司コムスポ・メンバーズカード



▼ サッカー教室（鑄銭司）



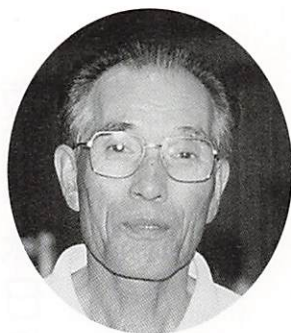
◀ 鑄銭司文化センターにある鑄銭司コムスポ事務局（クラブハウス）



▲ 気功・太極拳教室（鑄銭司）



それぞれの教室は、運営委員が当番制でお世話をしています。また、地区内の人が指導者や講師を自主的に行うなどクラブは地域のボランティアに支えられています。野村会長は、「現在は、市からの補助金をもらっているが、最終的には、自主運営していかねばならない。もつと会員を増やしていきたい」と語ってくれました。



鑄銭司蔵六 コミスポ
野村武人 会長

た、外部からの講師を呼んだり、地区外の会員も受け入れていきます。「クラブでは、スポーツを楽しむことを目的に、競技的に強くすることにこだわっていない。会員も増えてきており、地区の人にも徐々に理解していただいている。日頃は交流のない人が、教室の始まる前と後で話をしているのを見ると、コミュニケーションがはかられているのが実感できる。みなさんが喜んで参加してくれるし、友達を誘ってきてくれる」と語るのは、会長の野村さん。

クラブ名は、鑄銭司出身の大村益次郎が子どもの頃「蔵六」と呼ばれていたことに由来しています。シンボルマークの「亀」は、亀のように一歩一歩進んでいきたいという思いが込められています。



●佐山コミュニティスポーツクラブ

佐山地区では、6月から正式に会費（平成13年度の個人会費は年間500円と別に保険料）をとってスタート。スポーツ行事にこだわらずに文化的な行事も取り入れようとしています。「老若男女が交流できる年団や老人クラブを取り込んで、みんなで行こうと思っている」と語るのは会長の嶽野さん。佐山地区の特徴は、さまざまな団体が集まって構成されているところです。加入申し込みのときに、高齢の方には年齢にあったスポーツを開催してほしい、子どもたちからは昔遊びなどをお年寄りから習いたいという希望がありました。現在、会員は161名いますが、最初は、「お金（会費）を払ってまでは」という声もありました。来年度から学校週5日制が始まります。「コミュニティスポーツ



佐山コミスポ
嶽野孝男 会長

クラブで子どもたちが地域に帰ってきてくれて、このクラブが地域のコミュニティの核になればいい」と期待を寄せる嶽野会長。7月28～29日には、クラブ発足以来の大きなイベント『子供と大人のキャンプ』が開催され、約100人の地区民が参加しました。「イベントを通して、コミュニティスポーツクラブのことを地区の方に理解してもらい、口コミで会員が増えていってほしい」とたくさんの方がイベントに参加して喜ぶ地域ボランティアの皆さん。

佐山コミュニティスポーツクラブのシンボルマークは、冬、佐山に飛来するコハクチョウ。真ん中のハートは、みんながつながりあうようにという思いがあります。



●あなたの地区でもコミュニティスポーツクラブを
市では、今後、コミュニティス

ポーツクラブについての認識、理解を得る研修会や啓発活動を行っていき、全市的に育成、定着を目指していきます。
あなたの地区でもコミスポをはじめてみませんか。
◇問い合わせ 市体育課 (☎934-2874)

▶▼子供と大人のキャンプ (佐山)
(7月28日～29日)



▲あめんぼ教室 (佐山)

◀ 佐山コミスポ・メンバーズカード

突発する傷病から生命を守る

救急の日（9月9日）

救急医療週間（9月9日～15日）

9月9日は「救急の日」、9月9日から15日は「救急医療週間」です。急病やけがをしながらときに備えて、救急医療の正しい受け方と、家族などが重病で動けなくなったときに備えて、救急車の正しい呼び方などを紹介します。

夜間や休日に具合が悪くなったら

救急医療とは、夜間や休日などに、突発するけがや病気に対応するための医療です。患者の生命を守り地域の人の不安を解消します。

や病気の治療を行う医療機関です。夜間や休日起きたけがや病気は、在宅当番医、休日当番医、山口市休日夜間急病診療所で診察を受けたいのち、必要に応じて改めて「かかりつけ医」に受診するようにしましょう。

基本は「かかりつけ医」

医療を受ける基本は、まず「かかりつけ医」に相談することが大切です。皆さんが、日頃受診されている「かかりつけ医」はこれまでの治療状況を熟知した心強い味方です。かかりつけ医に診てもらったことができない夜間や休日、突発したけがや病気に対応するために、在宅当番医、休日当番医、山口市休日夜間急病診療所があります。これらは、比較的軽いけが

時間帯で違う診療体制

在宅当番医は、医療機関の診療が終わった夜間に、休日当番医は医療機関が診療を行わない休日に、医療機関が交代で診療を行う制度です。また、山口市休日夜間急病診療所では、午後7時から午後10時の間に内科と小児科の診療を毎日行い、土曜日と休日には、外科

北部地区の休日・夜間医療体制

	診療科目	医療機関	診療時間
休日	内 科	休日当番医 (山口市医師会)	8:30～17:30
	外 科	市休日夜間急病診療所	9:00～13:00
夜間	内 科	市休日夜間急病診療所 (土日は外科も含む)	19:00～22:00
	小 児 科	在宅当番医 (山口市医師会)	診療終了後～22:00 (平日のみ)

南部地区の休日・夜間医療体制

	診療科目	医療機関	診療時間
休日	内 科	休日当番医 (吉南医師会)	9:00～18:00
	外 科	市休日夜間急病診療所	9:00～13:00
夜間	内 科	在宅当番医 (吉南医師会)	19:00～22:00 (土曜のみ)
	小 児 科	市休日夜間急病診療所 (土日は外科も含む)	19:00～22:00

の診療も行っています。休日当番医については「市報やまぐち」15日号で毎回お知らせしますが、診療時間帯などの区分は次表のとおりです。なお、休日にはテレホンサービス（☎923-5000）で休日当番医を紹介しています。

専門的な医療は

夜間や休日に、当番医や山口市休日夜間診療所に受診された方で、傷病の程度により専門的な医療が必要と判断された場合には、診療可能な総合病院を紹介します。

紹介する総合病院は、夜間や休日に発生する専門的な医療を必要とする患者のためです。夜間や休日は、全ての総合病院が患者の受け入れが可能なわけではありません。救急医療に関しては、市保健センター（山口市糸米二丁目6番6号 ☎921-2666）までお問い合わせください。



山口市休日夜間急病診療所
場所：山口市糸米二丁目6番6号



気道確保

意識のないときは空気の入る通路を開く



人口呼吸

呼吸がないときは、患者の鼻をつまみ2秒間息を吹き込み胸部が動くのを確かめ5秒間隔で



心臓マッサージ

1分間に100回の早さで胸骨を押し、15回に1回の割合で人口呼吸を

けがや急病で動けなくなったときは

けがや病気になるたとき、家族の車やバス・タクシーなどで病院に行きます。しかし、自分や家族だけでは、病院へ向かうことができないほど重症なときは、消防組合の救急隊が救急医療機関へ搬送します。

救急車の正しい呼び方

火事と救急車は、119番。誰でも知っているようで、知らない救急車の呼び方。「いざ、急病」に備え、正しい呼び方を知っておきましょう。

- 119番の正しいかけ方
- (消防) 火事ですか、救急ですか？
- (通報者) 救急です
- (消防) 住所と目標物は？
- (通報者) ○○町、○△小学校南側
- (消防) お名前と電話番号は？
- (通報者) ○○で、電話は××です

応急手当が命を救う

通報から救急車到着まで、平均6分間です。この間に行われる応急手当が、傷病の回復を大きく左右します。そのため、山口地域消防組合では、救急法の講習会を実施しています。講習会の申し込みは、10人1組で山口地域消防組合消防本部（☎932-2602）にご連絡ください。

台風 シーズン到来

台風は予測ができるからと安易に考えてはいけません。日本列島には毎年多数の台風が接近し、山口市でも強風と大雨によりこれまでたびたび被害が出ています。

台風が来てから屋外に出るのは危険です。テレビやラジオの気象情報で予測進路や接近日時を確認し、台風が来る前に十分な対策をとりましょう。

接近前に十分な対策を

台風が接近したときは、不要な外出は避け、安全な場所で台風の通過を待ちましょう。

もし、避難勧告や避難指示があったら、まず火の始末を行い、非常持ち出し品を持って、あわてずに指定の避難場所へ避難しましょう。非常持ち出し品はできるだけ背負うようにし、両手が自由に使えるようにしておきましょう。

また、台風は、通過後に、再び吹き返しの強風をもたらすことがあります。いったん風が止んでも、油断しないことも大切です。

家の外をチェック

屋根	瓦のひび割れやずれがないか
外壁	壁に亀裂はないか プロパンガスのボンベは固定されているか
ブロック塀	ひび割れや破損箇所はないか
ベランダ	鉢植えなど飛散の危険が高いものは室内へ
窓ガラス	ひび割れ、窓枠のがたつきはないか
窓や雨戸	しっかりとカギをかける 必要ならば外から板を打ち付けて補強する
側溝や排水溝	掃除して水の流れをよくしておく
テレビアンテナ	支柱などの確認を行い補強しておく
ゴミ箱など	風でとばされそうな物はしっかり固定しておく

家の中の備えもチェック

停電対策	停電に備えて懐中電灯
窓ガラス	家の内側からガラスにテープを貼る カーテンやブラインドをおろす
非常用品	まとめて、持ち出し袋などに入れる
水の確保	断水に備えて浴槽に水を張るなど 生活用水を確保する

非常用品とは、懐中電灯、ローソク、マッチ、携帯ラジオ、乾電池、救急医薬品、衣料、貴重品、非常用食料などです。

いっしょに 山口の老人福祉・介護保険に ついて考えてみませんか

～ 山口市すこやか長寿対策審議会 市民委員募集 ～

市では、高齢者が住み慣れた家庭や地域の中で、いきいきと自立した生活を送ることができ、そのための計画づくりや施策の推進に、皆さんもぜひ参加してください。

介護保険制度は市町村が主体となって運営する制度です。

市では、この介護保険制度を含め、高齢者の保健・福祉制度を皆さんにとってよりよい制度とするために、「山口市老人保健福祉計画」「山口市介護保険事業計画」を平成11年度に策定しました。

この計画は、山口市の将来をみすえた高齢者保健福祉の設計図であり、現在、この計画に基づいて、高齢者保健福祉施策を計画的に推進しているところです。

この計画の策定や推進にあたって、「山口市すこやか長寿対策審議会」を設置しています。これは、保健・医療・福祉などの分野における有識者で構成されており、幅広い分野においてたくさんの意見をいただいています。

この度、その委員の一部を市民の皆さんから広く公募し、計画の改訂や推進に参加していただくこととしました。

いっしょに市の将来の福祉社会について考えてみませんか。



募集要件

- 40歳以上の市民（国および地方公共団体の議員、常勤の公務員は除く）
- 年4回程度開催の会議に出席できる方
- 任期は平成13年11月12日から3年間です。

応募方法

「私が描く山口市の高齢者福祉」と題した800字程度の作文を書いて、郵送またはEメールでお送りください。選考を経て、若干名を委嘱します。（ワープロ文書可）

締め切り

9月20日（木・必着）

応募先

〒753-8650

山口市亀山町2-1

市介護保険課

「審議会委員」宛

Eメールアドレス

kaigo@city.yamaguchi.yamaguchi.jp

uchi.jp

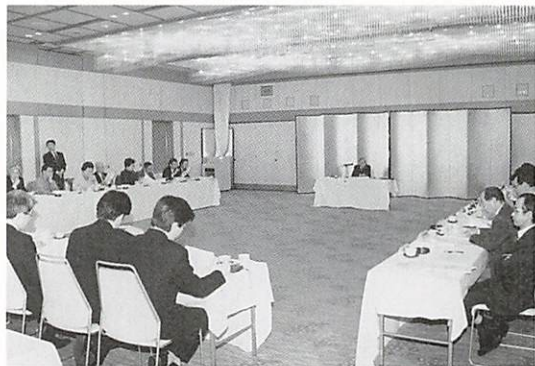
※介護保険課に直接お持ちいただいても結構です。

問い合わせ

市介護保険課

（市役所1階）

☎ 934-2795



すこやか長寿対策審議会



よりよい介護サービスを 目指して

介護相談員 派遣事業

市では平成13年度から介護相談員派遣事業に取り組んでいます。

この事業は、介護サービスを提供している事業者に対して、利用者の皆さんが、日頃言いたくてもなかなか言えないことを、ざっくばらんに相談員に伝えていただくことによって、安心してサービスを利用していただくというものです。

皆さんからご相談いただいた内容は、相談員が橋渡し役として直接事業者へ伝えていきます。

相談員さんに話を聞きました。



介護相談員の河村幸子さん(左)と乃美裕美子さん(右)

現在、2名の介護相談員が、順番に施設を訪問し、利用者の皆さんからのご相談をお受けしています。市内15の事業者が、より質の高い介護サービスを提

供するために、この事業に取り組んでいます。

サービスを提供する側が気が付きにくいことでも、利用者の視点から把握することによって、かくれた問題を見つけたり、事態が大きくなる前に解決を図ることもできます。

私たちがおつかがいして声をかけましたら、小さなことでもかまいませんので、お気軽にご相談ください。

対象となる介護サービス

- 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)
 - 介護老人保健施設
 - 介護療養型医療施設
 - 短期入所生活介護(ショートステイ)
 - 短期入所療養介護(ショートステイ)
 - 通所介護(デイサービス)
 - 通所リハビリテーション(デイケア)
- 以上の各施設で実施しております。

秋の全国交通安全運動

9月21日(金)～9月30日(日)

重点目標

- 高齢者の交通事故防止
- シートベルトとチャイルドシートの着用の徹底
- 前照灯早め点灯と反射材着用の励行

平成13年7月末現在、山口市内の交通事故発生件数は509件で、昨年の7月末現在より88件少なくなっています。これらの事故は、ラッシュ時と夜間に多発し、原因別ではわき見運転、最高速度違反が多いことが特徴です。

運転者も歩行者も、交通ルールとマナーを守り、交通事故をなくしましょう。

交通事故発生件数(市内、平成13年7月末現在)

	本年度累計	前年度累計	対前年比
発生件数	509	597	-88
死亡者数	5	5	±0
重傷者数	52	58	-6
軽傷者数	548	645	-97

● 伝統芸能と交通安全市民の夕べ ●

- ◇日時 9月20日(金)午後6時開演(午後5時30分開場)
- ◇場所 ば・る・るプラザ山口(惣太夫町1-15)
- ◇内容 表彰式(優良運転者等、交通安全優秀ポスター) / 1部 反射材効果の実演 / 2部 太鼓の実演会ほか
- ※入場無料(市役所受付、各出張所、山口・小郡警察署、山口・小郡交通安全協会に備え付けの整理券が必要)
- ◇問い合わせ 市地域生活課(☎934-2765)



チャイルドシートは正しく着用しましょう

募集

市民活動支援センター

愛称とシンボルマーク

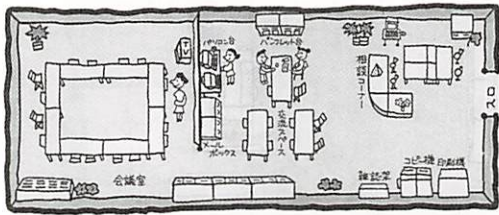
市では、NPOやボランティアなどの市民活動推進の拠点として、(仮称) 山口市市民活動支援センターを中心市街地に開設することとしました。この施設が、市民の皆さんに親しまれ、自分の住む街をより住みやすくしようというさまざまな市民活動が活発に行われるよう、施設の愛称とシンボルマークを募集します。

募集内容

- 愛称の部 表現方法は自由/正式名称と併記することがある
- シンボルマークの部 使用する色の数は自由/白黒でも表現で

市民活動支援センターとは

(仮称) 山口市市民活動支援センターは、市民が市民活動に参加する情報を収集したり、市民活動団体が市民に参加を呼びかけるなど、市民活動に関する情報を収集・発信する施設です。また、市民の公益的な活動を支える人材育成など、さまざまな支援プログラムを研究・開発・実施していきます。さらに、市民活動団体が、市民・企業・行政の交流を行う場として整備する施設です。



(仮称) 市民活動支援センターイメージ図

応募規定

自作、未発表のもの
採用作品は補正することがある
著作権等は山口市に帰属
賞金等 愛称、シンボルマークそれぞれ1作品、採用作品の応募者には、表彰状と副賞3万円を送ります。

応募期限 9月28日(金・必着)

応募方法 応募作品に、〒住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記の上、郵送、FAX、Eメールで、市地域生活課(〒753-8650 亀山町2-1 / ☎934-2763 / FAX934-2644 / Eメールアドレス chiki@city.yamaguchi.yamaguchi.jp)へ



特定非営利活動法人 障害者と共に歩む会 さやか

障害者が地域社会において自立した生活を営める環境を実現するために設立された「特定非営利活動法人 障害者と共に歩む会 さやか」。その活動などについて、代表者の上原京子さんにお話をうかがいました。

設立のきっかけは?

もともと昭和63年に発足した「学童保育さやか」が始まりです。平成11年、養護学校卒業後の働く場として作業所を立ち上げ、自主運営してきましたが、保護者だけの運営に限界を感じて、組織を強化しようと今年2月にNPO法人の認証を受け「障害者と共に歩む会 さやか」を発足しました。

活動内容は?

作業所「さやか工房」(平井768-1)の運営をしています。作業所には、9人の障害者が通い、4人の職員が指導しています。作業所では、自動車部品の組み立て、



指導を受けながら作業に取り組むみなさん

ネジの袋詰めなど、下請けの仕事をしています。また、ポーチなど織物のオリジナル商品づくりもしています。そのほか、調理実習などもしています。

これからの目標は?

作業所の運営を安定させることと運営組織を強化していきたいと思っています。また、多くのボランティアスタッフの中から、組織を運営する後継者を育てていきたいと思っています。

◇問い合わせ 上原さん (☎928-9643)

ペットはあなたの家族 しつても愛情も欠かせません

動物の飼い方マナーアップ強調期間
(9月1日～10月31日)

ペットの鳴き声等の苦情や、散歩時の排泄の始末に関する苦情が増えています。動物を飼っている人はマナーをきちんと守り、みんなが快適に暮らせるように心がけるとともに、家族と同様の愛情を持って一生面倒をみましょう。また飼い主の不明な動物には餌を与えないようにしましょう。

なお、犬の所有者には、登録（生涯1回）や年1回の狂犬病予防注射が法律で義務づけられていますので、必ず済ませるようにしましょう。

動物愛護フェスタ やまぐち2001

◇期日 9月23日（日・祝）

※雨天決行

◇場所 県動物愛護センター
(陶943-12)

◇主な内容

- ・動物ふれあい会
(午前9時30分～午後3時)
- ・子犬・子猫の譲渡会受付
(午前9時30分～10時)
- ・子犬・子猫の譲渡会抽選、講習会
(午前10時～11時30分)
- ・家庭犬トレーナーによる講演および実演
(午後1時30分～4時)
- ・動物クイズラリー
(午前10時～午後3時)

◇入場無料

※動物の持ち込みは禁止

○問い合わせ

県動物愛護センター

☎083-973-8315



年の途中で転入した場合の市県民税

Q 私は平成13年9月にA市から山口市へ転入してきました。平成13年度の個人の市県民税は、A市で納めているのですが、山口市へも納めなくてはならないのでしょうか。

A いいえ、納めていただくことはありません。個人の市県民税は、前年の所得

得に対してかけられる税金で、その年の1月1日現在の住所地である市町村が課税することになっていきます。

この場合、9月に山口市へ転入され、1月1日現在の住所がA市にあるとのことですから、A市に平成13年度分の市県民税を納めていただくこととなります。

なお、来年1月1日現在の住所地が山口市であれば、来年度の個人の市県民税は山口市に納めていただくこととなります。

◇問い合わせ 市課税課市県民税担当 (☎934-2735)



国民健康保険の 資格喪失の届け出

Q 国民健康保険に加入している者が、このたび亡くなりました。死亡届は提出しましたが、国民健康保険の窓口へも届け出が必要ですか。

A 国民健康保険の加入者が死亡された場合、資格喪失の手続きをされないと、いつまでも保険料がかかり続けることになり

ますので、次のものを持参のうえ、14日以内に、市保険年金課または出張所で手続きをしてください。

○手続きに必要なもの

・国民健康保険被保険者証

・喪主の方の口座番号（葬祭費が4万円支給されます）

※次のものをお持ちの方は持参ください。

- ・老人保健法医療受給者証
- ・福祉医療費受給者証
- ・介護保険被保険者証

◇問い合わせ 市保険年金課 (☎934-2801)



90歳になっても

泳ぎ続ける！

こばやしごろう

小林五郎さん

トロフィーを片手ににっこり笑顔のこのお方、実はただ者ではありません。なんと、現役水泳選手にして、現世界記録保持者です。

現在、小林さんは、80〜84歳の部で100メートルと200メートル、85〜89歳の部で50メートルと100メートル背泳ぎの世界記録を持っています。

■初参加で最高殊勲選手賞を受賞

若い頃は水泳選手として活躍された小林さん。仕事が忙しかったせいもあり、50歳頃から約30年間は水泳から離れていました。そして81歳のとき、「一緒に泳がないか」という周りの友人からの勧めもあり、趣味で水泳を始めますが、なんとその年に出場した県大会で最高殊勲選手に選ばれました。「自分にこんな記録を出せる力があるなんて、本当にびっくりしましたよ」と、そのときの思いを語ってくださいます。それから毎日欠かさず練習をしているそうで、「実は、81歳のときよりもいい記録がでるんですよ。練習の成果ですかね」と笑顔がこぼれます。

■自分でできることを見つけ、続けることが大事

小林さんの毎日はとても充実しています。午前中は長年園芸技師として勤めた農業試験場で、外国



山口市在住の85歳。国内外で開かれる水泳大会に積極的に参加し、数々の記録を樹立。現在もいくつかの世界記録を持つ。

の農業書物の翻訳をボランティアで行い、午後は水泳の練習にプールへ出かけます。そのほかにも、フォークダンスやゲートボールの会に参加されるそうで、「とにかくじっとしているのがいやなんです」とおっしゃるとおり、とても元気な85歳です。

また、英語をはじめ、外国語も堪能で、毎日かかさずラジオ講座で勉強をされています。「今は、フランス語を勉強中です」と小林さん。そんなパワーの源を聞いたところ、「年齢は関係ありません。私がボランティアで翻訳の仕事をしているのも、やりがいの一つ。趣味でもいいから、自分でできることを見つけたら、とにかく自分から進んで実行し、続けることが大事なんです。いつかきつと自分の財産になりますよ」と熱く語ってくださいます。

■目標は勝つことではなく、あくまでも自己記録更新

来年の3月には、第9回世界マスターズ選手権水泳大会がニュージーランドで開催されます。この大会には、世界各国から約6000名（日本からも約300名）の方々が参加されます。「今は、この大会を目標に毎日練習しています。自分自身の記録更新に挑戦しますよ」と、とても楽しみにされていました。

山口のんた情報 (山口ケーブルテレビ)

午前7時50分(火・金)、午後零時45分(月・木・日)、午後6時20分(水・土)、午後10時20分(火・金)から20分間放送。
○1日〜15日 「山口七夕ちょうちんまつり」
○16日〜31日 きらら博「山口市の日」

わたしたちのまち山口 (テレビ山口)

毎週日曜日、午前11時40分から放送。
○2日・9日 「知ってますか? IT講習」



9月の放送
予定です

○16日・23日・30日 未定

やまぐちしま専科 (山口朝日放送)

毎週水曜日、午後5時15分頃から「とれたてテレビYAB」の1コーナーで放送。
○5日 「湯田温泉を歩こう」
○12日 「栗林和彦のふるさと発見」
○19日 「容器包装の分別」
○26日 「手づくり絵本の会」



山口市リサイクルプラザ
☎ 927-7122 ☎ 927-7133

http://www.urban.ne.jp/home/ymgplaza
開館時間 午前9時から午後5時
資源ごみの受け付け
午前9時から午後4時30分
月曜と祝休日の翌日はお休みです

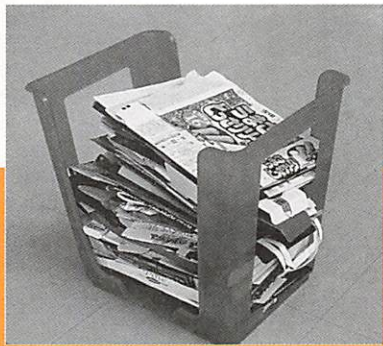
分別収集の日まで

容器包装の保管 どうしていいですか

4月から始まったプラスチック製と紙製容器包装の分別収集。たくさんの種類を分別するには、保管しておく場所や手間がかかるという声をたくさんききます。今回は分別した容器包装をうまく保管している市民の皆さんのアイデアを紹介します。

紙製容器包装の保管は

たばこの箱からおもちゃの箱までいろいろな大きさがあります。これらをひもで縛るのは面倒です。こういうときは、



新聞ストックを使います。最初に大きめの箱を折りたたんで、ストックの底におき、順に重ねていくと大きさが違ってひもで縛りやすくなります。

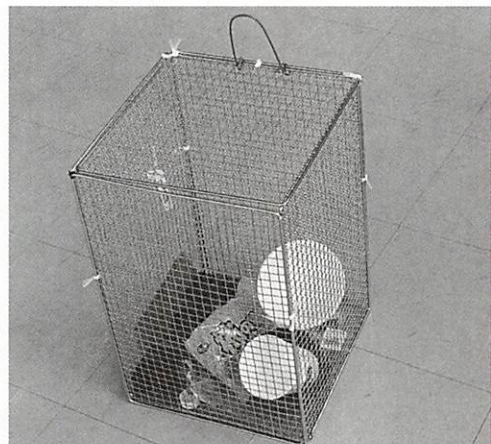
みなさんもいろいろ工夫されているようですね。ほかにもみなさんが実践しているいいアイデアがあれば、リサイクルプラザまでご連絡ください。

分別収集は、洗ったり、乾かしたりと手間がかかりますが、いろいろな工夫をして、少しでもラクに、きちんと分別収集を行っていきましょう。(企画 やまぐちエコ倶楽部)

プラスチック製容器包装の保管は

プラスチック容器包装は分別した後、洗って乾かしますが、完全に乾いていないままビニール袋などに入れると臭いがします。そんな時、写真のような手作りのカゴに入れると場所もとらず、乾きやすくなります。

(材料) バーベキュー用網 30センチ×45センチを4枚、30センチ×30センチを2枚(テープか針金でとめて組み立てます。材料費は、約1600円。)



- その他にも**
- ◇みかんなど果物の入った大きめのネットを利用し、洗ったプラスチック製容器包装を風通しのいいところへつるしておくですぐ乾きます。
 - ◇洗濯用ピッチにつるしておく方法もあります。
 - ◇ざるの中や干物をつくる干しあみかご(右写真)の中に入れてもよく乾きます。



■ 9月のリサイクルアイデア講座 (午前10時～正午) 《いつでも参加できます。申込みはいりません》

フラワーアレンジメント	1 (土) 29 (土)	牛乳パックで絵本作り	22 (土)
カントリー小物	1 (土)	布遊び	8 (土) 22 (土)
和服のリフォーム	4 (火) 11 (火)	あんでるせん手芸	8 (土)
モアの手法を使った小物づくり	4 (火)	トールペインティング	12 (水) 26 (水)
パッチワーク	5 (水) 12 (水) 22 (土) 26 (水)	余り布でつくるコサージュ	13 (木) 27 (木)
洋服のリフォーム	6 (木) 20 (木)	毛糸のリサイクル	14 (金) 28 (金)
さき織り	6 (木) 13 (木) 20 (木) 27 (木)	カントリードール	19 (水) 26 (水)
ネクタイでベスト、小物作り	7 (金) 14 (金) 21 (金) 28 (金)	※カントリードール、トールペインティングは、	
牛乳パックで座椅子作り	8 (土)	午前9時30分～正午	

■ 9月のフリーマーケット

- ◇日時 9月9日(日) 午前9時～午後3時(雨天中止)
- ※「来春まで楽しめる寄せ植え」、「牛乳パックで座椅子作り」(午前10時～)
 - ※おもちゃの病院もあります。(受付は午前10時～11時30分)
 - ※10月のフリーマーケットは、10月14日(日)。出店の申し込みは、9月15日(土)から受け付けます。出店共益費(300円)

◎問い合わせ 山口市リサイクルプラザ (☎927-7122)

お知らせ

敬老金の支給があります

市では、基準日（6月1日）に山口市に住民票のある方および外国人登録をされている方で、年内に次の年齢に達する方々に、長寿を祝して、9月15日の敬老の前日に、敬老金を支給します。

- ◇対象年齢 80歳（傘寿） 88歳（米寿） 90歳（卒寿） 99歳（白寿） 100歳（上寿） および101歳以上の各年齢に達する方
- ◇問い合わせ 市高齢障害課（☎934-2793）

「下水道の日」山口市下水道図画・書道コンクール

9月10日（月）は「下水道の日」です。この日を中心として、下水道に対する理解と関心を深め、下水道の普及促進を図るため、全国的にさまざまな関連行事が実施されます。

- 市では、小学生を対象とした「山口市下水道図画・書道コンクール」に応募のありました作品すべてを次のとおり展示します。
- ◇期間・場所

・9月10日（月）～14日（金）市役所1階市民ホール

・9月15日（土・祝）～17日（月）中市コミュニティホール（中市町3-13）

- ◇問い合わせ 市下水道管理課（☎934-2779）

名称が「どうもんビル」に決まりました

昨年、市が取得しました旧ダイエー山口店建物（道場前二丁目）の名称が、「どうもんビル」に決まりました。

- ◇問い合わせ 市都市計画課（☎934-2831）

山口情報芸術センター開館準備室に名称が変わります

中国文化施設の正式名称が、山口情報芸術センターに決定されたことに伴い、9月から企画財政部文化振興課内の「中国文化施設開館準備室」を「山口情報芸術センター開館準備室」（☎934-2718）に名称変更します。

山口市人権に関する学習講座

- ◇場所 市役所3階会議室
- ◇対象 市民30人（先着順）
- ◇受講料 無料

◇申し込み 各回の開催10日前までに、電話またはFAX（〒住所、氏名、電話番号、希望の講座を記入）で市生涯学習課（☎934-2867 FAX 934-2661）へ

回	日 時	講 座 名	講師・指導者等（敬称略）	会議室
1	9/25（火） 9:30～12:00	報道・メディアにおける人権について考えよう ○講義○自由討議	山口大学アドミッションセンター教授 堀江 穆	第10
2	10/4（木） 14:00～16:30	高齢者の問題について考えよう ○講義○自由討議	特別養護老人ホーム恵寿苑 苑長 藤山千佳子	第11
3	10/18（木） 14:00～16:30	子どもの健全育成と人権について考えよう ○講義○自由討議	山口地区保護司会理事 山口市青少年指導員 水上 義昭	第10
4	11/1（木） 9:30～12:00	女性の人権、ジェンダーフリーについて考えよう ○講義○自由討議	やまぐち県民活動支援センター 中川 忍子	第6
5	11/15（木） 9:30～12:00	「同和」認識のキーポイント ○講義○自由討議	山口大学講師 北川 健	第11

サクットくらぶ チクチクくらぶ

- サクットくらぶ（工作教室）
- ◇日時 毎月第2土曜日午後2時から
- ◇対象 幼児～小学生（幼児は保護者同伴）

チクチクくらぶ（手芸教室）

◇日時 毎月第4土曜日午後2時から

- ◇対象 小学生
- ◇場所 市三和児童館（三和町3-3）
- ◇費用 無料
- ◇問い合わせ 市三和児童館（☎922-7055）

第7回山口市障害者芸術文化祭作品募集

11月17日（土）18日（日）に、ルネッサながとで開催される第7回山口市障害者芸術文化祭の作品を募集します。

- ◇応募作品の内容（7部門） 絵画、写真、書道、手芸、工芸、俳句・短歌、文芸
- ※応募作品は各部門を通して一人1点で、未発表のものに限る
- ※応募作品には市町村名および氏名を必ず記入
- ※できるだけ額装・軸装・パネル等で仕上げる（半紙のみの出品や写真で額なしでの出品等）
- ※遠慮ください
- ◇応募資格 障害者で県内在住者
- ◇応募方法 9月28日（金）までに、市高齢障害課（市役所1階）または各出張所に設置の申込書

と作品を県障害者社会参加推進センター（〒753-0072 大手町9-6 県社会福祉会館内）☎928-5432 FAX928-5436へ提出。

デザインプラザHOFU「ふるさとセミナー」

◇日時 9月29日（土）午後2時～3時30分

◇場所 デザインプラザHOFU（防府市八王子2-8-9）

◇内容 講演「ふるさとの再発見」森と暮らす、森に学ぶ

◇講師 柳生博氏

◇参加費 無料

◇問い合わせ（財）山口・防府

地域工芸地場産業振興センター

「デザインプラザHOFU」（☎0835-25-3700）

全国一斉司法書士無料法律相談

司法書士テレホン無料法律相談所

◇日時 9月29日（土）午前10時～午後3時

◇場所・電話番号 スターピア下

松（下松市中央町21-1）☎0120-013-212

無料法律相談特設会場

◇日時 10月1日（月）午前9時～午後4時

◇場所 県司法書士会館（駅通り2-9-15）

いづれも

◇相談内容

・相続、贈与、売買等不動産に関する登記

・会社の設立、役員変更等会社（法人）に関する登記

・貸金請求、家屋明渡し、自己破産等訴訟書類作成および家賃の供託等に関する相談

◇問い合わせ 県司法書士会事務局（☎924-5220）

山口きらら物産展21

◇日時 9月15日（土・祝）～17日（月）午前10時～午後6時（最終日は午後3時まで）

◇場所 県維新百年記念公園スポーツ文化センター（吉敷399-5-1）

◇内容 中国・四国9県の特産品の展示、実演、販売、郷土芸能大会ほか

◇問い合わせ 県商工会連合会（☎925-8888）

◇時間 午後1時30分～3時

◇場所 山口大学教育学部2階22

山口大学公開講座 ヒューマンスクール

◇時間 午後1時30分～3時

◇場所 山口大学教育学部2階22

番教室

◇定員 50人

◇費用 受講料5800円

◇申込期間 9月3日（月）～21日（金）

◇申込方法 所定の申込書に必要事項を記入し、受講料を添えて、現金書留による郵送で、山口大学教育学部庶務係（〒753-8513 吉田1677-1）☎933-5303へ

◇審査発表 11月下旬に入賞者に通知

◇応募方法 9月30日（日・消印有効）までに所定の応募票に必要事項を記入の上、作品裏側に1枚ずつ張り付け、山口線SL運行対策協議会「SLいきいき写真コンテスト係」（〒753-8501 滝町1-1 県商業観光課内）☎933-3170へ

山口きらら太鼓フェスティバル

◇日時 9月24日（月・振休）午前10時～午後1時

◇場所 山口きらら博会場（やまぐちホール）

◇内容 県内24団体で組織する山口県和太鼓連盟による演奏披露／山口和太鼓連盟音頭／きらら博記念創作曲「Kirara」初演奏

◇問い合わせ 山口県和太鼓連盟事務局（☎922-0091）

回	日	時	講座名	講師・指導者等（敬称略）
1	10/3	(水)	人の心と多様な価値観を認める教育	山口大学教育学部助教授 石井由理
2	10/17	(水)	心が考える「心」～言語表現からさぐる人間の「知」～	山口大学教育学部助教授 前田 満
3	10/31	(水)	日本近代洋画に見る〈絵画と精神〉～高橋由一と岸田劉生の場合～	下関市立美術館学芸係長 濱本 聡
4	11/14	(水)	藤原道綱母の夢分析	山口大学教育学部助教授 名島潤慈
5	11/28	(水)	子供の心を見つめる～臨床心理士の視点から～	山口大学教育学部助教授 木谷秀勝
6	12/12	(水)	私とは何か	山口大学教育学部助教授 岡村康夫

SLいきいき写真コンテスト

◇テーマ 「SLの旅を楽しむ」

※SLやまぐち号の車内で、家族または友達と一緒に旅を楽しむ様子を撮影した写真に限る

※平成13年7月1日以降に撮影した作品で未発表のもの

※作品の返却は致しません

◇応募規定 四つ切またはワイド四つ切の紙焼き

◇賞 山口線SL運行対策協議会会長賞（1点）沿線市町長賞（4点）入選（5点）

◇審査発表 11月下旬に入賞者に通知

◇応募方法 9月30日（日・消印有効）までに所定の応募票に必要事項を記入の上、作品裏側に1枚ずつ張り付け、山口線SL運行対策協議会「SLいきいき写真コンテスト係」（〒753-8501 滝町1-1 県商業観光課内）☎933-3170へ

◇審査発表 11月下旬に入賞者に通知

◇応募方法 9月30日（日・消印有効）までに所定の応募票に必要事項を記入の上、作品裏側に1枚ずつ張り付け、山口線SL運行対策協議会「SLいきいき写真コンテスト係」（〒753-8501 滝町1-1 県商業観光課内）☎933-3170へ

◇審査発表 11月下旬に入賞者に通知

◇応募方法 9月30日（日・消印有効）までに所定の応募票に必要事項を記入の上、作品裏側に1枚ずつ張り付け、山口線SL運行対策協議会「SLいきいき写真コンテスト係」（〒753-8501 滝町1-1 県商業観光課内）☎933-3170へ

山口きらら太鼓フェスティバル

◇日時 9月24日（月・振休）午前10時～午後1時

◇場所 山口きらら博会場（やまぐちホール）

◇内容 県内24団体で組織する山口県和太鼓連盟による演奏披露／山口和太鼓連盟音頭／きらら博記念創作曲「Kirara」初演奏

◇問い合わせ 山口県和太鼓連盟事務局（☎922-0091）

◇問い合わせ 山口県和太鼓連盟事務局（☎922-0091）

かがりさんぽ



山口市館 10万人を突破!!

山口市館10万人目の来館者となった広島市の佐伯さん夫妻に市長から記念品が贈呈されました。(8月16日)



夏休みの思い出できたかな

森と親しもうと、第6回森林ふれあいまつりが開催され、子どもたちは木工教室や丸太切りなどを楽しみました。(8月11日)



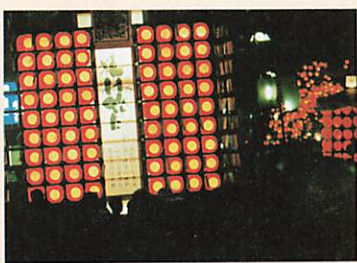
幽玄の世界へ 山口薪能

第11回目となる山口薪能が野田神社能楽堂で行われ、観客はかがり火の下、幻想的な世界を堪能しました。(8月4日)



海の恵みを実感

海は生きている! 体験漁業が秋穂二島山口漁港で行われ、稚魚を放流したり、漁船に乗ったりと、いろいろな体験をしました。(8月4日)



ちょうちんに灯がともされ、まちを練り歩く新山笠 (8月7日)

表紙の写真は、今年から登場した新山笠です。これは市民からの一般公募により、最優秀賞に選ばれたデザインをもとに制作されました。高さ5メートル、担ぎ棒の長さが7メートルあり、540個のちょうちんで飾られています。あんどん部分は14世紀に山口の美しい風景を呼んだ「山口十境の詩」から4編が墨書きされ、絵馬には詩の情景が描かれています。

表紙写真説明

山口七たちょうちんまつり

今年もたくさんの人でにぎわった山口七たちょうちんまつり。この祭は、国宝・瑠璃光寺五重塔を建立したことで知られる大内氏26代盛見公が、父母の冥福を祈り、七日盆の夜に笹竹の上に高燈籠たかとうろうをともし、精霊の迎え火にしたのが始まりと伝えられています。